

2017年10月10日

リコー、産業印刷向け大判 UV フラットベッドインクジェットプリンタ市場に参入 ～ 米国「SGIA EXPO 2017」に出展し、2018年初めから欧米/アジアで販売開始～

株式会社リコー(社長執行役員:山下 良則)は、自社のインクジェット技術を活用したリコー初の産業印刷向け大判 UV フラットベッドインクジェットプリンタ「RICOH Pro T7210」を開発、2018年初めから欧米、および一部のアジア・パシフィック地域で先行販売を開始し、順次グローバルに展開してまいります。

新製品の発売に先立ち、2017年10月10日から12日まで米国ニューオリンズで開催される全米最大のワイドフォーマット印刷見本市「SGIA EXPO 2017」に出展します。

近年、産業印刷市場では、多品種小ロット生産や短納期、オリジナルデザインの使用など多様な顧客ニーズに対応するために、版製作が不要でフレキシブルな生産が可能なインクジェット印刷によるデジタル化が進んでおります。RICOH Pro T7210は、リコー独自の高耐久性・高吐出性でご好評を得ている自社インクジェットヘッドやオフィス印刷で培ってきた画像処理技術を結集し、高生産性と高画質の両立を実現しました。また、同時に発売するリコー独自の高密着UVインクはさまざまな基材に対応しており、スマホケースなどのグッズ、インテリア製品や建材など、幅広い用途にお使いいただけます。

リコーは、2017年度から始まった第19次中期経営計画において、産業印刷を成長領域のひとつとして掲げています。40年以上に渡り取り組んできたリコーのインクジェット技術は、オフィス印刷向けにとどまらず、今では商用印刷、そして産業印刷など、衣・食・住のさまざまな領域へと展開しています。これまで、リコーは独自のインクジェットヘッドやインクをプリンターメーカーに供給するインクジェットヘッド事業を展開してきましたが、今回「RICOH Pro T7210」の発売により、産業印刷向け大判 UV 大判フラットベッドインクジェットプリンタ市場に参入することとなります。

リコーは今後も、さまざまな製品、サービスを通して衣・食・住に関わるさまざまなシーンでプリントの可能性を広げ、新しい価値、新しい体験を提供することで、新たなプリント文化の創造に寄与してまいります。

<新製品の特徴>

- ・リコーが40年以上取り組んできた独自のインクジェット技術を結集。12個のインクジェットヘッドを3列の千鳥状に配置することで、4色印刷時に最大100 m²/hの高い生産性を実現しました。5色、6色印刷でも高速印刷が可能です。
- ・リコー独自のUVインクを使用しており、アクリルやガラス、木材、アルミ、鋼板など、さまざまな基材に高い密着性(基材に対して形成した絵柄などが剥がれてこないという性質)を実現しています。
- ・印刷サイズは、最大2.1m × 3.2mに対応しています。大型看板をはじめ、壁・扉・家具などに用いられる建装材などで多く使用されている4×8板サイズ(1,220mm×2,440mm)への印刷が可能なおうえ、3尺×6尺ボードの基材なら、3枚同時にセットすることも可能です。
- ・印刷できる媒体の厚さは最大11cmまで対応。さまざまな建材への印刷を可能にします。

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL: 03-6278-5228(直通) E-mail: koho@ricoh.co.jp
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL: 0120-892-111



RICOH Pro T7210

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2017年3月期リコーグループ連結売上は2兆288億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>